

住民説明会（上越市3会場分）での主な意見等の要旨

※本検討委員会での議論に関係すると思われる意見等を抜粋

1. 再編全般について

- ① 再編も含めた地域医療提供体制の検討にあたって、患者や地域住民の意見を入れるべきではないか。
- ② 患者にとって負担となる転院を前提とした地域完結型の医療提供体制ではなく、病院完結型にすべきではないか。
- ③ どの病院にとっても、経営上の不利益が生じないような再編になるよう、検討を進めるべきではないか。
- ④ 新中核病院・新地ケア病院で行うこととしている一体的運営は、2病院だけでなく、地域全体でも考えるべきではないか。

2. 新中核病院・新地ケア病院について

- ① 現状の急性期2病院体制で役割分担は行われ、圏域外への救急搬送も少なく、うまくいっており、再編する必要はないのではないか。
- ② 外来での待ち時間が長いことや災害時対応など考慮し、急性期は2病院体制を維持するべきではないか。
- ③ 地域全体でのベッドコントロールは、すぐにやるべきであり、それをせずに2病院の一体的運営を行うというのは飛躍しすぎているのではないか。
- ④ 一体的運営の必要性について、機能分化にともなう経営への影響を理由に挙げているが、診療報酬改定なども踏まえると、それほど大きな影響はないのではないか。
- ⑤ 一体的運営の手法の一つとして例示されている「地域医療連携推進法人」が病院間の損益調整を行うのは、困難なのではないか。
- ⑥ 一体的運営にあたり、県立中央病院の運営形態が変わるのであれば退職や異動等を考えているという声も考慮して検討を進めるべきではないか。
- ⑦ 一体的運営について、医師派遣元の大学の考えをよく聞く必要があるのではないか。
- ⑧ 周辺病院に派遣できるだけの医師を、本当に新中核病院に集めることができるのか。
- ⑨ 県立中央病院と上越総合病院という経営母体異なる病院の一体的運営にあたり、プライドの高い医師が協調してやっていけるのか。
- ⑩ 急性期機能の集約・機能分化により、異なる大学から派遣された医師が一つの病院に集約されることとなるが、そうした状況でも医師がうまく仕事できるような環境づくりが必要ではないか。併せて、地元出身の医師が戻ってきやすい仕組みが必要ではないか。